

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回所沢市環境審議会（書面会議）
開 催 日 時	（市から委員に意見等を求めた日） 令和2年7月10日（金）
開 催 場 所	書面会議のため開催場所はありません。
出 席 者 の 氏 名	（書面会議に参加した委員） 天野正博、甲野毅、秋元智子、内田勉、毛利吉成、川原博満、田中淑子、上田マリノ、坂根裕子、縣美智子、岩崎新太郎
欠 席 者 の 氏 名	—
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	—
議 題	（1）答申素案のまとめ方について （2）答申素案について （3）その他
会 議 資 料	・別紙1 第3回所沢市環境審議会 ～ガイダンス～ ・資料1 答申素案のまとめの経緯 ・資料2 答申素案 ・資料3 令和2年度所沢市環境審議会委員名簿 ・参考1 今後のスケジュール ・回答様式 ご意見記入シート
担 当 部 課 名	環境クリーン部 部長 廣川 正芳 次 長 一井 里映 次 長 大舘 真哉 環境政策課 課 長 安藤 善雄 主 幹 吉田 美由紀 主 査 並木 美佐子 主 査 三浦 直子 主 任 金森 敏也 電話 04（2998）9133

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、書面による会議を開催したことから、本紙をもって会議録の代わりとする。</p> <p>※以下記録において、どの箇所にたいする意見かを、意見冒頭前のカッコ書きで示した。また、資料の文章を訂正した場合、修正前後での変更箇所に下線をした。</p> <p>（1）答申素案のまとめ方について</p> <p>資料1「答申素案のまとめの経緯」について、委員のご意見を求め、各ご意見対して事務局から回答・説明し、さらにそれに対して意見があるかを確認した後、本審議内容として確定した。意見等の対応は以下のとおりである。</p>
委員	<p>（資料1、P1(1)（別紙1のガイダンスの手順(1)も該当））</p> <p>本資料1の示し方を最初に示した方がよいと考える。「最初に問題分析と目的分析のための樹形図を示し、次に実際にワークショップで出された意見一覧を示す」など。また、最初に樹形図がいきなり掲載され、何を言っているのか戸惑った。最初に出された意見一覧、次に樹形図の方が、読者には理解しやすいかもしれない。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり、説明の順番は、ご意見一覧の次に樹形図の方が理解しやすかったものと考えられる。答申案の記述の際の参考にさせて頂く。</p>
委員	<p>（資料1、P1(2)）</p> <p>樹形図とは何かを説明する必要はないか？</p> <p>また「整理・体系化したものを示す」とあるが、どのように整理・体系化したのかを示さなくてよろしいか。今回の推進計画の重要な点は、ワークショップを重ねて、出された意見を整理した点であると考え。そこで、「ワークショップで出された提言をその場でKJ法により、、、」など示すべきだと思う。</p>
事務局	<p>答申案の記述の際の参考にさせて頂く。</p>
委員	<p>（資料1、P2の図1及びP8の表1）</p> <p>一括化した周知・啓発の一括化とは、どのような意味か。P8の表1の課題Gの3.の①～④を見ても、よくわからなかった。</p>

事務局	<p>(資料 1、P2 の図 1 及び P8 の表 1)</p> <p>「周知・啓発はしているものの、ターゲットを意識していなかったり、伝達方法が単調であったり、啓発目的が明確ではないなど、戦略的ではない」ことを示すことを意図して、「一括化した周知・啓発」としましたが、わかりにくい表現でしたので、課題 G 名を「単調な周知・啓発」とする。(別図 1-1)</p>
委員	<p>(資料 1、P2 の図 2)</p> <p>環境行動への市民参加が不十分→参加意欲に乏しい、便益優先→動機付けが不足→責任感が不足→「地元での活動の機会不足」はお隣の「参加可能性のある方の機会損失」の方に置いた方がよろしいのではないか。</p>
事務局	<p>ご意見を反映した図にする。(欄外別図 1-2 参照)</p>
委員	<p>(資料 1、P3 の図 4)</p> <p>環境行動への市民参加が不十分→事業者の参加不十分→地域に根差した活動不十分→「社会貢献する企業を評価する社会風土希薄→啓発・周知不十分」はお隣の、「環境に良い活動をした企業を評価する仕組み不足」の下の方がよろしいのではないか。</p> <p>その代わりとして、地域（住民・他の企業等）とのコミュニケーション不足や経営者の理解不足（左隣の項目と重複しますが）が挙げられると思う。</p>
事務局	<p>ご意見をもとに、参加不十分と概ね同意である「地域に根差した活動不十分」を消し、「社会貢献する企業を評価する社会風土希薄→啓発・周知不十分」を「環境に良い活動をした企業を評価する仕組み不足」の下に繋げた図にする。(欄外別図 1-3 参照)</p>
委員	<p>(資料 1、P8～12、表 1)</p> <p>上の帯の「課題 G」には課題（問題解決のためにやること）ではなく、問題をグループ分けしているので、「問題 G」ではないか。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり、該当部分を「問題 G」に訂正する。</p>
委員	<p>(資料 1、P8、表 1)</p> <p>1-1-1-1-⑧と 1-1-1-3-⑤が同じ内容なので記載の再確認をお願いします。</p>
事務局	<p>1-1-1-3-⑤を削除した。</p>
委員	<p>(資料 1、P15、表 2 8. ナッジ（デフォルト）を活用した周知)</p> <p>①『袋いりますか』と聞くようにする」のは、レジ担当者の負担増、処理時間の増加、購入者の苛立ちにつながるなどの指摘もある。</p>

	<p>→ 「レジ袋の要・不要を意図的かつ効果的に意思表示（レジ担当が認識する）する仕組み（工夫）を考える」などではいかがか。</p>
事務局	<p>ご意見をもとに、該当部分を「レジ袋の要・不要を意図的かつ効果的に意思表示する仕組みや工夫を考える。」に訂正する。</p>
委員	<p>（資料 1、全般）</p> <p><1> 課題及び方策についての整理(p2～21)の仕方、<2> 表 2「目的分析におけるご意見」(p13～21)についても、概ね適切であると思われる。前述のコメント欄にいくつか示したので、可能な範囲でご検討ください。</p>
事務局	<p>承知した。各コメントにつきましては、各欄にて対応を記載している。</p> <p>(2) 答申素案について</p> <p>資料 2「答申素案」について、委員のご意見を求め、各ご意見対して事務局から回答・説明し、さらにそれに対して意見があるかを確認した後、本審議内容として確定した。意見等の対応は以下のとおりである。</p>
事務局	<p>（資料 2、表紙、第 2 段落）</p> <p>理解しやすいよう、次のとおり修正する。</p> <p>（修正前）わが国では、<u>パリ協定に基づく温室効果ガスの低排出型発展のための長期戦略として、「パリ協定・・・</u></p> <p>（修正後）わが国では、<u>令和元年 6 月に「パリ協定・・・</u></p>
事務局	<p>（資料 2、表紙、第 5 段落）</p> <p>文のつながりから、第 4 段落（本審議会では・・・）と第 5 段落（市民・事業者の・・・）は改行せず同じ段落とする。</p>
事務局	<p>（資料 2、表紙、第 5 段落）</p> <p>理解しやすいよう、次のとおり修正する。</p> <p>（修正前）・・・主体的な参加を<u>中心とした答申である</u>ことを意識し、<u>答申作成の過程においても、市民・事業者からの意見など・・・</u></p> <p>（修正後）・・・主体的な参加に<u>つながる答申となる</u>ことを意識し、市民・事業者からの意見など・・・</p>
委員	<p>（資料 2、全般）</p> <p>コロナウィルス感染症の影響を受け、私たちの生活様式・行動は大きく変わった。環境審議会においても対面での会合を開催できなかったところである。一方、国などにおいては、コロナウィルスの影響に柔軟に対応した政策を打</p>

事務局	<p>っている。当答申において、ウィズ・コロナにおける生活・行動の新様式での環境行動について、全く言及がないのは違和感があるので、記載できる部分があれば答申に盛り込んでどうか。</p> <p>ご意見を踏まえ、答申書（表紙）に次のとおり加筆する。</p> <p>（修正前）市におかれましては、本答申に基づき、効果的な環境施策に取り組み、市民・事業者の行動推進につなげて、持続可能な地域社会を実現されることを望みます。</p> <p>（修正後）市におかれましては、本答申に基づき、<u>社会情勢、地域の特性等踏まえて</u>、効果的な環境施策に取り組み、市民・事業者の行動推進につなげて、持続可能な地域社会を実現されることを望みます。</p>
事務局	<p>（資料 2、目次）</p> <p>各ご意見を踏まえ、また、理解しやすいよう、次のとおり修正する。</p> <p>（修正前）2 <u>討議・検討方法～テーマ（中心問題）に対する課題と方策の導き方～</u></p> <p>（修正後）2 検討方法</p> <p>（修正前）3 環境行動への市民参加に係る課題について</p> <p>（修正後）3 環境行動への市民・<u>事業者</u>の参加に係る課題について</p> <p>（修正前）4 環境行動への市民<u>参加</u>に係る方策について</p> <p>（修正後）4 環境行動への市民・<u>事業者</u>の参加に係る<u>具体的方策</u>について</p>
事務局	<p>（資料 1、P1、1 の本文 1 行目）</p> <p>次のとおり下線部脱字を修正する。</p> <p>（修正前）所沢市マチごとエコタウン推進計画（第 3 期所沢市環境基本計画）」</p> <p>（修正後）「<u>所沢市マチごとエコタウン推進計画</u>（第 3 期所沢市環境基本計画）」</p>
委員	<p>（資料 1、P1、1 の第 3 段落、第 1 項）</p> <p>意見というよりも、主に教えていただきたいこととなる。</p> <p>○市の地球温暖化に係る現状の主な課題</p> <p>所沢市においては、CO₂排出量の多い部門である、運輸、民生家庭、民生業務部門において効果的に減らしていく必要がある。</p> <p>→これだけ減らす必要があるが、この 3 部門は達成率が悪いということだろうか。</p>
事務局	<p>市域 CO₂排出量に対して、占める割合が高い部門という意味であり、運輸部門が約 30%、民生家庭部門が約 28%、民生業務部門が約 26%となっているためである。なお、産業部門からの排出量は約 15%である。（H30 実績）</p>

	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。</p> <p>(修正前) <u>所沢市においては、CO₂排出量の多い部門である、運輸、民生家庭、民生業務部門において効果的に減らしていく必要があります。</u></p> <p>(修正後) <u>市域において運輸部門、民生家庭部門、民生業務部門からのCO₂排出量はそれぞれ約3割を占めており、これらの部門で効果的に減らしていく必要があります。</u></p>
<p>委員</p>	<p>(資料1、P1、1の第3段落、同第2項)</p> <p>市域全体からの温室効果ガス排出量を実質ゼロにするには、現時点ではコストの点からも実現が厳しい状況である。</p> <p>→排出量、実質ゼロを目標としているのか、目標ならば、それは何年を目標年度と考えるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現時点では、排出量実質ゼロを目標にはしていない。ご意見のあったことを鑑み、問題点を整理して次のとおり修正する。</p> <p>(修正前) <u>市域全体からの温室効果ガス排出量を実質ゼロにするには、現時点ではコストの点からも実現が厳しい状況です。</u></p> <p>(修正後) <u>都心に近いベッドタウンである本市においては、排出した温室効果ガスを吸収できるほどの森林等の吸収源はないため、温室効果ガスを効果的に削減するために、全ての主体がそれぞれ削減取組をしていく必要があります。</u></p>
<p>委員</p>	<p>(資料1、P1、1の第3段落、第3項について)</p> <p>年々、熱中症、浸水被害が増加傾向にあります。</p> <p>→所沢市における数値があれば教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>熱中症については、別図2-1(欄外参照)のとおりである。また、浸水被害数は別図2-2(欄外参照)のとおりである。</p> <p>ご意見を踏まえ、再確認し、以下の表現に修正する。</p> <p>(修正前) <u>年々、熱中症、浸水被害が増加傾向にあります。</u></p> <p>(修正後) <u>毎年、熱中症による救急搬送者、大雨や台風による浸水害が発生しており、気候変動への適応策のさらなる充実が必要です。</u></p>
<p>委員</p>	<p>(資料1、P1、1の第4段落(P1、16・17行目)及び同頁、2(1)の下から4行目)</p> <p>(16行目) 市民が課題を、(17行目) 市民が一様に、(下から4行目) 市民が、の箇所は、市民だけでなく、事業者は必要ないか。</p> <p>→ 市民や事業者、または、市民・事業者 など</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見を踏まえ次のとおり修正する。</p> <p>(修正前)「市民」→(修正後)「市民・事業者」</p>

<p>委員</p>	<p>(資料 1、P1、1 の第 4・5 段落)</p> <p>1 ページ 2. (1) 全体的な手順において記載されている「市民が自主的に行動する」と「市民が主体的に環境学習・活動に参加するため」の自主的と主体的の意味を読者が誤解しないように、1. はじめにの第 4 段落「上述のような～」以降を下線で示したように修正することを提案する。</p> <p>『上述のような課題を解決していくために、市民が自ら課題を認識し、行動をおこす意欲を持ち、実践する自主性を促すことが大切です。しかし、市民が一様に、環境配慮の意識に目覚めているわけではないので、意識化から行動まで段階を踏んで啓発・支援していかねばなりません。</p> <p>地球温暖化の緩和・適応を進め、世界共通の持続可能な開発目標 SDGs にも貢献していくためには、所沢市マチごとエコタウン推進計画の施策に市民・事業者が受動的に参加するのではなく、自らの意志で推進計画を実行に移そうという主体的な参加が不可欠であり、本審議会ではそれらを検討したものです。』</p>
<p>事務局</p>	<p>関係者に係るご意見及び自主的と主体的の用語使用法に係るご意見を踏まえつつ、次の様に修正する。(下線は原文を修正した箇所)</p> <p>参考までに、国語辞典によると、「自主的」とは、他人の保護・干渉を受けないで独立して自分の意志で行動するさま、「主体的」とは、自己の主体性(自分の意志判断によって行動し、他に影響を及ぼしていくこと)に基づいて働きかけるさま、とのことである。</p> <p>この文より後は、「自主性」、「自主的:」は「主体性」や「主体的」で統一する。</p> <p>なお、第 5 段落については、緩和と適応の補足説明に係るご意見に基づき、加筆修正した。</p> <p>(修正前)</p> <p>上述のような課題を解決していくために、市民が課題を認識し、行動をおこす意欲を持ち、<u>実際に実践することが大切です</u>。しかし、市民が一様に、環境配慮の意識に目覚めているわけではないので、段階を踏んで啓発・支援していかねばなりません。</p> <p>地球温暖化の<u>緩和・適応</u>を進め、世界共通の持続可能な開発目標 SDGs にも貢献していくためには、所沢市マチごとエコタウン推進計画の施策への市民・事業者の主体的な参加が不可欠であり、本審議会ではそれらを検討したものです。</p> <p>(修正後)</p> <p>上述のような課題を解決していくために、市民・事業者が自ら課題を認識し、行動をおこす意欲を持ち、<u>実践する自主性を促すことが大切です</u>。しかし、市民・事業者が一様に、環境配慮の意識に目覚めているわけではないので、<u>意識化から行動まで段階を踏んで啓発・支援していかねばなりません</u>。</p> <p>地球温暖化対策として温室効果ガスの排出抑制等を行う「緩和」と、気候変</p>

事務局	<p>動による影響を回避・軽減する「<u>適応</u>」の取組を進め、世界共通の持続可能な開発目標 SDGs にも貢献していくためには、所沢市マチごとエコタウン推進計画の施策に市民・事業者が受動的に参加するのではなく、<u>自らの意思で実行に移そうという主体的な参加が不可欠であり、本審議会ではそれらを検討したものです。</u></p> <p>(資料 2、P1、2 の表題について) 先述と同様の修正。 (修正前) 2 <u>討議・検討方法～テーマ (中心問題) に対する課題と方策の導き方～</u> (修正後) 2 検討方法</p>
事務局	<p>(資料 2、P1、2(1)の第 1 段落について) 環境配慮行動と他 4 つの行動の位置づけの違いがわかりにくいため、次とおり修正する。 (修正前) <u>‘環境行動’には、省エネ・省資源といった環境負荷が相対的に小さい消費をする等の「環境配慮行動」、・・・</u> (修正後) <u>消費をする等の「環境配慮行動」が知られていますが、細かく分けると、・・・</u></p>
事務局	<p>(資料 2、P2 の問題分析等のフロー図) P2 問題分析等に係るフロー図のタイトルを、「■各種分析から方策の選択までの流れ【図 1】」とする。 それに伴い、旧図 1 を図 2 (P4) に、旧図 2 を図 3 (P13) に修正する。</p>
委員	<p>(資料 2、全般 (特に 2、3、4)) 問題と課題、方策の言葉の使い分けにやや混同があると思う。 問題：現状があるべき姿になっていない阻害要因 課題：問題 (あるべき姿を妨げている要因) を解決するためにやること 方策：はかりごと、手段、方法 (ネット調べ)</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、まず、用語の使い方を次のように整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題：環境問題、地球温暖化の問題、気候変動の問題などといったように、あるべき姿からかけ離れて大きな困難が生じている状態やその要因を問題とします。また、「問題分析」は学術用語なので、そのまま用いる。 ・課題：地球温暖化といった大きな「問題」の中に複数ある、解決すべき「原因・要因」または「原因・要因」を解決するためにやるべきこと (例えば、「市域では車からの CO₂ 排出量割合が多い」または、言い換えると「市域の車からの CO₂ 排出量の削減のためにやるべきこと」) を課題とする。 ・方策：課題を解決するための具体的方法 (例えば、「電気自動車購入時の補

	<p>助金を交付する)とする。</p> <p>また、ご意見及び上記の前提を踏まえ、次のとおり修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P2、図1 の「所沢市の特徴 (強み・弱み・・・)」の第1項 (修正前)・・・、<u>課題解決することを理解する。</u> (修正後)・・・、<u>議題となるテーマ (環境に関する活動への主体的な市民参加について)</u> ・ 同図1 の「問題分析」の第1項 (修正前)・・・<u>浸透していない原因・課題を</u>・・・ (修正後)・・・<u>浸透していない原因を</u>・・・ ・ 同図1 の「方策の選択」の第1項 (修正前) <u>課題</u>や方策のうち、・・・ (修正後) <u>原因</u>や方策のうち、・・・ ・ P10、⑤第4項 (修正前)・・・<u>環境課題と解決策を導き出す</u>・・・ (修正後)・・・<u>環境問題の課題と解決策を導き出す</u>・・・
事務局	<p>(資料2、P1、2(1)第2段落第1文)</p> <p>次のとおり接続詞、助詞を加筆する。</p> <p>(修正前) 環境は広範囲の分野を含みます。</p> <p>(修正後) <u>また、環境とは</u>広範囲の分野を含みます。</p>
委員	<p>(資料2、P1、2(1)全体)</p> <p>1 ページの目指すべき環境行動の表記がわかりにくいと思う。</p> <p>市民が自主的に行動すること、 市民が主体的に環境学習に参加すること、 市民が主体的に環境活動に参加すること、 この3つのための方策を検討した、と解釈した。</p> <p>方策に対する環境行動とは何を指すのか? ややわかりにくい表現である。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、P1、2(1) 第2段落第2文を目指すべき環境行動を理解しやすいよう次のとおり修正する。</p> <p>(修正前)・・・、「<u>地球温暖化の緩和と適応</u>」のために市民が自主的に行動するための方策及び市民が主体的に環境学習・活動に参加するための方策 (参加の入口は地球温暖化対策に直接関係しなくてもよいものと想定) に対する環境行動について焦点を絞り検討しました。</p> <p>(修正後)・・・、「<u>地球温暖化の緩和と気候変動への適応</u>」に焦点を絞り、<u>当問題の解決に資する市民・事業者の主体的な環境行動 (日常の環境配慮行動、環境学習、種々の環境活動¹等)</u>を促す方策について検討しました。</p> <p><脚注 1 参加のきっかけは地球温暖化対策に直接関係しなくてもよいもの</p>

	とする。>
委員	(資料 2、P1、2(1)) 自主と主体を区別されているが、個人的行動は自主、集団行動は主体を用いていると解釈しました。個人であっても主体でよろしいと思う。
事務局	ご指摘のとおり、この文以降は「主体」で統一する。
委員	(資料 2、P1、2(1)の 1 行目) 資料 1 には記載されていないものの、資料 2 では関係者分析についての記載があることから、以下のように下線部分の追記を提案します。 「具体的には次の手順で <u>関係者分析・問題分析、目的分析等</u> を行い、方策を導き出しました。」
事務局	当ご意見と資料 1 での委員のご意見を踏まえ、次のとおり修正する。 (修正前) <u>具体的には次の手順で問題分析、目的分析等を行い、方策を導き出しました。</u> (修正後) <u>実施手法は、議題となる問題(解決すべき根本的な問題)に対して原因を分析し、解決策を絞り込み、プロジェクトを作成していく手法である、PCM 手法 (Project Cycle Management) を参考に、次の手順で関係者分析、問題分析、目的分析等を行うことにより、方策を導き出しました。</u>
事務局	(資料 2、P2、問題分析等のフロー図) 資料 1 での委員のご意見を踏まえ、次のとおり修正する。 <所沢市の特徴(強み・弱み)の確認、関係者分析>第 1 項 (修正前) 所沢市の強みを生かし、弱みを克服しつつ、 <u>課題</u> 解決することを理解する。 (修正後) 所沢市の強みを生かし、弱みを克服しつつ、 <u>議題となる問題(環境行動が市民、事業者等に浸透していない)</u> を解決することを理解する。 <問題分析>第 1 項 (修正前) 環境に係る活動が市民、事業者等に浸透していない <u>原因・課題</u> をワークショップ形式で抽出する。 (修正後) 環境に係る行動が市民、事業者等に浸透していない <u>原因について、ワークショップ形式で原因について、ワークショップ形式で各委員が考えを書き出し、それらを整理して系図化することにより原因の分析をする。</u> <目的分析>第 1 項 (修正前) <u>課題</u> が解決された望ましい状態を考えるとともに、それを導くための手段を問題分析に対応させて、ワークショップ形式で抽出する。

	<p>(修正後) <u>問題</u>が解決された望ましい状態を考えるとともに、それを導くための手段について、<u>問題分析</u>に対応させながらワークショップ形式で各委員が考えを書き出し、それらを整理して系図化することにより方策(手段)の分析をする。</p> <p><目的分析>第1項</p> <p>(修正前) <u>課題</u>が解決された望ましい状態を考えるとともに、それを導くための手段を<u>問題分析</u>に対応させて、<u>ワークショップ</u>形式で抽出する。</p> <p>(修正後) <u>問題</u>が解決された望ましい状態を考えるとともに、それを導くための手段について、<u>問題分析</u>に対応させながらワークショップ形式で各委員が考えを書き出し、それらを整理して系図化することにより方策(手段)の分析をする。</p>
委員	<p>(資料2、P3、表1)</p> <p>主な特徴に数値が出ているが、それが多いか少ないのかわかる方がよい。緑被率や車の保有台数などは、例えば同規模の市や県の平均などの数値があればよいかと思う。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、表の右に「参考値」の欄を一行挿入し、その欄に次の項目について県や近隣市の値を加え、併せて文言を微修正する。</p> <p>(「参考値」の追加項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2行目 緑被率(埼玉県、さいたま市、川越市の値) ・第4行目 昼間人口・率(さいたま市、川越市の値) ・第5行目 自動車保有車両数(軽自動車を除く)(さいたま市、川越市の値) ・第7行目 CO₂排出割合上位3位部門(埼玉県、さいたま市、川越市の値)
委員	<p>(資料2、P3、図1)</p> <p>潜在的反対者の「中小企業」は、「無関心の中小企業」では如何か。中小企業の全部が潜在的反対者のように見えてしまうが。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。</p> <p>(修正前)「<u>中小企業</u>」→(修正後)「<u>無関心の事業者</u>」</p>
委員	<p>(資料2、P3、図1)</p> <p>表2との整合性を図るのはいかがか。</p> <p>自治体 → 自治体・町内会、 環境団体 → 環境保全団体など</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、次の関係者名を次のとおり修正する。</p> <p>図1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句修正

	<p>(修正前)「自治会」→(修正後)「自治会・町内会」 (修正前)「環境団体」→(修正後)「環境活動団体」 (修正前)「<u>民間事業者</u>」→(修正後)「事業者」 ・関係者追加 協力者に「地域活動世代」を追加</p>
委員	<p>表 2 (修正前)「<u>企業</u>」→(修正後)「<u>事業者</u>」 (資料 2、P3、図 1) 環境行動に関わる関係者分析、費用負担者に環境団体も入るのではないかと。ボランティア活動は、お金は負担していないかもしれないが、活動に伴って人的資源を投入している。 潜在的反対者は、温暖化に対しての不信論者もいるかもしれない。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。 (修正後)費用負担者:「環境活動団体」を追加。 潜在的反対者:「温暖化懐疑論者」を追加。「化石燃料関連事業者」を消去。</p>
委員	<p>(資料 2、P4、表 2 のタイトル) P2 の(2)の文章を拝見すると、図 1 と表 2 の関係は、図 1 から表 2 に抽出されているように思える。タイトルを P2 の(2)の文章と少し整合を取った方がよろしいかと思う。 →(例)「環境行動に(積極的に)関わる関係者(等)の詳細分析」</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、タイトルを次のとおり修正する。 (修正前)環境行動に関わる関係者の詳細分析 (修正後)環境行動に<u>積極的に</u>関わる関係者<u>等</u>の詳細分析</p>
委員	<p>(資料 2、P4、表 2 (弱み・問題)) 環境行動に関わる関係者の評価分析は、弱み・問題というより弱み・課題という表現のほうが良いかもしれない。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり、項目名を次のとおり修正する。 (修正前)弱み・<u>問題</u>→(修正後)弱み・<u>課題</u></p>
委員	<p>(資料 2、P4、表 2 (高校・大学生)) 高校・大学生の弱み・問題のところにあるは、強み・潜在能力ではないか。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり、「大学生は時間、移動の自由度が大きい」を「弱み・課題」から「強み・潜在能力」に移動する。</p>

<p>委員</p>	<p>(資料 2、P4、表 2 (企業、勤労者))</p> <p>企業の基本情報で、従業員数 10,400 名は勤労者の数と考えてよいのか。</p> <p>また、企業数 9,600 の産業分類は勤労者のところの産業分類とリンクするの か。勤労者と企業の基本情報がわかりづらい。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見のとおり、10,400 名は勤労者であり、勤労者と企業の基本情報が、 被っていること、表 2 を積極的に関わる関係者等の詳細分析に修正するため、 「勤労者」を削除し、「企業」を「事業者」とし、その基本情報を整理し、次 のとおり文言を修正する。</p> <p>(修正前)</p> <p>「<u>企業</u>」基本情報</p> <p>市内企業数約 9,600、<u>従業員数約 10,400 名。</u></p> <p>マチエコ応援隊として機器メーカー 7 社、施行業者 4 社が登録。</p> <p>(修正後)</p> <p>「<u>事業者</u>」基本情報</p> <p><u>市内事業所数は 9,622、産業分類では多い順に、卸売業・小売業 (2,284)、 宿泊業・飲食業(1,150)、建設業(1,047)。</u></p> <p><u>市内従業員数は 10,400 名、産業分類では多い順に、卸売業・小売業(21,118 人)、医療・福祉(16,419 人)、製造業(11,282 人)。(H28.6 現在)</u></p> <p><u>市と協働で創エネ機器等を導入推進する</u>マチエコ応援隊は、機器メーカー 7 社、施行業者 4 社が登録。<u>(R2.8 現在)</u></p>
<p>事務局</p>	<p>(資料 2、P4～5、表 2 等)</p> <p>固有名詞以外は、「子ども」に表記を統一する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P4、表 2 (子育て世代×強み・潜在能力の第 2 文) <p>(修正前) <u>子供</u>→(修正後) <u>子ども</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P10、4⑤ <p>(修正前) <u>こども同士</u>→(修正後) <u>子ども同士</u></p> <p>単位の「名」を「人」に統一する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P4、表 2 (小中学生×基本情報) <p>(修正前) 約 16,400 <u>名</u>→(修正後) 約 16,400 <u>人</u></p> <p>(修正前) 約 7,800 <u>名</u>→(修正後) 約 7,800 <u>人</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P5、表 2 (環境推進員×基本情報) <p>(修正前) 1,130 <u>名</u>→(修正後) 1,130 <u>人</u></p> <p>情報を加筆する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P4、表 2 (地域活動世代×強み・潜在能力) <p>次の文言を最後に加筆。</p>

<p>委員会</p>	<p>(修正後) <u>小中学生 (約 24,200 人) に比べて人数が多い。</u></p> <p>(資料 2、P4、表 2 (地域活動世代))</p> <p>様々な世代による地域活動もあることから、基本情報の最初に「市内で地域活動の主体となっているのは定年後の高齢者である。」を追記することを提案する。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図 1(P3)の協力者に地域活動世代を加え、その脚注として、次の文言を加筆。 <u>地域活動を主に担っている世代。年代では、定年後の高齢者世代。</u> ・ 表 2(P4)の地域活動世代の基本情報に次の文言を冒頭に加筆。 <u>市内での地域活動の主な主体は、定年後の高齢者世代。</u>
<p>委員</p>	<p>(資料 2、P4、表 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応策事例×勤労者のセル ダイエット → 健康管理 (表現を少し変えた方がよい) ・ 弱み・問題×地域活動世代のセル 年金暮らしの方が多 → 年金暮らしの方そのものが弱み・問題に読み取れる可能性があります。年金暮らしの方の何が弱み・問題かを示した方がよろしいかと思いますがいかがか。 ・ 弱み・問題×環境推進員のセル 推進員→環境推進員(文字数の問題があれば、次の文章を「環境推進員として依頼された活動内容に制限される。」としてはいかがか。)
<p>事務局</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表 2 勤労者の行は削除(事業者とかぶるため) ・ P8、4①イ第 1 項目 (修正前)・・・関心事 (<u>ダイエット、カロリー</u>など)・・・ (修正後)・・・関心事 (<u>健康管理、運動量</u>など)・・・ ・ 表 2、弱み・課題×地域活動世代のセル (修正前) <u>年金暮らしの方が多。</u> (修正後) <u>年金生活者の場合、環境行動のための費用の自己負担増は負担であることが予想される。</u> ・ 表 2、弱み・課題×環境推進員のセル

	<p>(修正前) <u>やむなく推進員になっている場合もある。環境推進員での活動であると委嘱された仕事の範囲内の活動となる。</u></p> <p>(修正後) <u>環境推進員として委嘱された活動内容に制限される。</u></p>
委員	<p>(資料 2、P5、表 2 (環境保全団体))</p> <p>環境保全団体の基本情報は、団体数を入れた方がわかりやすい。</p>
事務局	<p>「環境保全団体」については、図 1 と呼び方を統一化して、(修正前) 環境保全団体→(修正後) 環境活動団体とする。</p> <p>ご意見を踏まえ、環境活動団体の基本情報に次とおりの関連数値を加える。</p> <p>(修正前) アダプトプログラム関連団体 (河川浄化団体等)、緑化関連団体、こどもエコクラブ等が存在する。</p> <p>(修正後) アダプト・プログラム関連 <u>38 団体 (河川・水路等の清掃美化団体等) (R2.5 時点)</u>、<u>みどりのパートナー制度におけるみどりの保全活動 24 団体</u>、<u>緑化推進活動 30 団体 (R2.3 末時点)</u>、<u>こどもエコクラブ 15 団体 (R2.3 末時点)</u>等が存在する。</p>
委員	<p>(資料 2、P5 2(2) ■主なターゲットグループ (関係者))</p> <p>このターゲットグループはどこに繋がるのか。以降の 3. 4. 5. にも事業者が登場するが、ここでいうターゲットグループとは異なるのか。</p> <p>企業 (事業者) も重要だと思うのだが、入らないのはどうしてか。3 課題、4 方策、5 方策全体像にも記載がある。</p>
委員	<p>事業者に係る問題や方策のご意見が、他の主体に比べて比較的少なかったということ、また、テーマが主体的な市民参加ということもあり、当初、事業者をターゲットグループから外すこととしていた。しかし、3 課題、4 方策、5 方策全体像と、取りまとめていくと、ご意見のとおり、事業者は、市民や団体とは異なる、問題解決のための一定の大きな役割を担っていた。</p> <p>従って、ご意見のとおり、2(2)の主なターゲットグループに、事業者を加える。</p>
事務局	<p>(資料 2、P5 2(2) ■主なターゲットグループ (関係者))</p> <p>主なターゲットグループについて、表 2 を経て決定していることから、次のとおり修正する。</p> <p>(修正前) <u>環境保全団体</u></p> <p>(修正後) <u>環境活動団体や自治会等のコミュニティ</u></p>
事務局	<p>(資料 2、P5、3 の表題)</p> <p>(修正前) 3 環境行動への市民参加に係る課題について</p> <p>(修正後) 3 環境行動への市民・事業者の参加に係る課題について</p>

事務局	<p>(資料 2、P5、3 及び P7、4 の各項) 理解しやすいよう、全ての課題や方策に項番号を付与するための修正をする。</p> <p>(修正前) 3 及び 4 における、「①～⑥」の各表記→ (修正後) 「(1)～(6)」 (修正前) 3 及び 4 における、各課題や各方策前の「・」の表記→ (修正後) 「①」のような丸囲みの数字番号を順番にふる。</p>
事務局	<p>(資料 2、P7、4 の表題) (修正前) 4 環境行動への市民参加に係る方策について (修正後) 4 環境行動への市民・事業者の参加に係る<u>具体的方策</u>について</p>
委員	<p>(資料 2、P5、3) 出された課題を、個人、学校や事業者などの組織、社会的要因の 3 つに分けて、さらに分類したと解釈しましたが、いかがか。</p> <p>5 頁の「次の通りになります」の前に、「市民（個人）の意識の向上や行動の課題、事業者や学校の課題、社会的要因の課題にまず分類し、そこからさらに以下の 5 つの項目に分類した」などとするのはいかがか。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり、大きくは個人（市民）、組織、社会的要因に分けており、それをさらに分類している。</p> <p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。</p> <p><u>(修正前) テーマ「環境に関する活動への主体的な市民参加について」に対する問題分析を実施し、地球温暖化対策（緩和策 及び適応策）及び環境学習・環境保全活動への市民参加を促進するための課題を抽出しました。具体的には、市民活動が浸透していない原因を羅列した後、それらを整理・体系化し、主たる課題を抽出しました。課題をまとめたものが次のとおりとなります。</u></p> <p><u>(修正後) 議題となる問題（環境行動（脚注 9）が市民、事業者等に浸透していない）の原因を調べて系統的に整理する、問題分析を実施しました。P2 の図 1 の方法に従って、問題に対する具体的な原因を羅列し、次に、原因を市民（個人）の意識の向上や行動の課題、事業者や学校といった組織の課題、社会的要因の課題に分類し、さらに以下の(1)から(6)に示す 6 つ課題として整理しました。各課題は次のとおりです。</u></p> <p><u>(脚注 9) 主に地球温暖化の緩和と気候変動への適応に関する環境行動 (P2、2(1)参照)</u></p>
委員	<p>(資料 2、P5、3) この項で書かれている「課題」は、「問題」ではなく「問題解決をするためにやること」の形で書かれている。「課題」は本来こういう書き方になると思う。</p>

事務局	<p>例：①リサーチが必要です。／工夫が求められています。</p> <p>ご意見を踏まえ、文言を整理しつつ、次のとおり修正する。</p> <p>①第1項・・・<u>リサーチが必要です。</u>→・・・<u>工夫が求められています。</u></p> <p>③第1項・・・<u>窓口が必要です。</u>→・・・<u>窓口が求められています。</u></p> <p>③第4項・・・<u>協力して頂ける機会を設けることが必要です。</u>→・・・<u>協力できる機会を設けることが求められています</u></p> <p>③第5項・・・<u>調整等が必要です。</u>→・・・<u>調整等が求められています。</u></p> <p>⑥第2項・・・<u>支援が必要です。</u>→・・・<u>支援が求められています。</u></p>
事務局	<p>(資料2、P7、3⑥の第1項)</p> <p>理解しやすいよう、次のとおり修正します。</p> <p>(修正前) <u>運輸部門による温室効果ガスの削減のために、公共交通等のインフラの充実・整備が求められています。</u></p> <p>(修正後) <u>公共交通等のインフラの充実・整備により、環境にやさしい移動が求められています。</u></p>
委員	<p>(資料2、P7、4)</p> <p>3の「課題」の項にも問題解決のためにやること書いてあるので、「方策」は「具体的方策」のように、課題との違いを出した方が良いのではないか。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次(4の表題)及びP7、4の表題 <p>(修正前) 環境行動への市民参加に係る方策について</p> <p>(修正後) 環境行動への市民・<u>事業者</u>の参加に係る<u>具体的方策</u>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P7、4の本文第2段落 <p>(修正前)・・・進めるべき<u>推進方策</u>をまとめたものが・・・</p> <p>(修正後)・・・進めるべき<u>具体的方策</u>をまとめたものが・・・</p>
事務局	<p>(P7、4の本文第1段落)</p> <p>理解しやすいよう、次のとおり修正する。</p> <p>(修正前) <u>3における課題が解決された望ましい状況を達成するための方策について、目的分析を実施しました。具体的には、3の原因分析における各原因・課題に対応する方策を羅列、整理した後、意見の多かった方策又は所沢市マチごとエコタウン推進計画及び同重点実施計画の推進として最も効果的な方策を抽出しました。</u></p> <p>(修正後) <u>3の課題が解決された望ましい状況を達成するための方策を導くため、目的分析を実施しました。P2の図1の方法に従って、3の問題分析の原因・課題を解決する方策を羅列後、整理し、最も効果的な方策を抽出しました。</u></p>

委員	<p>(資料 2、P8、4 イ. 第 3 項 (イ. 第 10 行))</p> <p>イ. の 1 行目で「見える化」とあるので、10 行目の「視覚化」は「見える化」と合わせた方がよろしいのではないかと。</p>
事務局	<p>ご意見も併せ、次のとおり修正する。</p> <p>(修正前) 畜エネ・創エネ・省エネ機器等を<u>利用した時</u>としない場合の経済的損失の表示と併せて支援メニューを周知するなど、ナッジ及び<u>視覚化</u>を活用した、行動のきっかけづくり・後押しをします。</p> <p>(修正後) 畜エネ・創エネ・省エネ機器等を<u>利用時</u>と<u>非利用時</u>の経済的損失の表示と併せて支援メニューを周知するなど、ナッジ及び<u>見える化</u>を活用した、行動のきっかけづくり・後押しをします。</p>
委員	<p>(資料 1、2、全般)</p> <p>資料 1、P3 の図 3「所沢の環境特性に合った活動」、資料 1、P6 の図 10「環境に良い活動をした企業」に対しては創生可能エネルギー（ところざわ未来電力の採用とか）、自転車レーンを増やす等、いくつか気になった所があったが、本年日本に（世界）コロナの問題、集中豪雨等の大きな問題があるので、環境問題に対する意識を上げるのは大変難しいと思う。</p> <p>従って、提案だが、昨年日本一の環境都市「所沢」の、色々な項目で、点数が低かったモノ、逆に所沢が優れたモノを市民に再度教えることこそが、多くの市民の方々も分り易く参加頂けると思う。</p>
事務局	<p>今後、周知・啓発の実施の際には、ご意見を踏まえて進めていく。</p> <p>また、本市の環境施策で優れた点となると、「全国市区サステナブル度・SDGs 先進度調査」（日本経済新聞社産業地域研究所調べ）では、市域での再生可能エネルギー利用を推進している点等が評価されているが、P4、(1) イ③の方策において、長所を伸ばすこと意図した記述とした。</p>
委員	<p>(資料 2、P8、4 イ. 第 4 項目)</p> <p>「使い捨て容器を使わない」→「リユース容器の活用を進め、使い捨て容器を使わない」 など、どのような方法があるのかを示した方が良いのではないかと。</p>
委員	<p>(資料 2、P8、4 イ. 第 4 項目)</p> <p>「使い捨て容器を使わない」はコロナの時代に使い捨て容器のニーズが高くなっています。環境に配慮した原料の容器を使うぐらいではどうか。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。</p> <p>(修正前) イベント等で、<u>使い捨て容器を使わない</u>、・・・</p>

<p>委員</p>	<p>(修正後) イベント等で<u>環境に配慮した原料の容器を使う</u>、・・・</p> <p>(資料 2、P8、4①イ. 第 6 項)</p> <p>暑さ指数等 → 暑さ指数 (WBGT) 等 として、WBGT 欄外で捕捉説明してはいかがか。暑さ指数だけではよくわからない可能性があるかと思う。</p> <p>「暑さ指数とは、人間の熱バランスに影響の大きい気温・湿度・輻射熱の 3 つを取り入れた暑さの厳しさを示す指数です。」など、欄外の補足が必要かと思う。</p> <p>また、その結果、輻射熱も説明が必要になるかもしれない。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見のとおり修正する。</p> <p>(修正前)「暑さ指数等」</p> <p>(修正後)「暑さ指数 (WBGT) 等」として、欄外に補足説明を加筆しました。補足説明は「<u>暑さ指数 (WBGT(湿球黒球湿度): Wet Globe Temperature) とは、人間の熱バランスに影響の大きい気温・湿度・輻射熱の 3 つを取り入れた暑さの厳しさを示す指数です。(輻射熱とは、地面や建物・体から出る熱のこと。)</u>」としました。</p>
<p>委員</p>	<p>(資料 2、P8、4②第 2 項)</p> <p>事務局の意見ですが、何を意味しているのかよくわからない。ライフラインが止まった中での生活を疑似体験することを言っているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>この項については、公共施設において災害時のエネルギー(太陽光パネル等)を確保することで、市民の不安感を解消すると共に、市民のご自宅での創エネ設備の導入意識を高めるという趣旨であるが、ご意見のとおり意味が伝わりにくいので、この項を削除する。</p> <p>(修正前) <u>豪雨時等の避難所(実践)において、エネルギーがない不便さと不安に対比して、再生可能エネルギーの活用によるエネルギーのありがたさと安心感を得られるようにします。</u></p> <p>(修正後) 削除</p> <p>これに伴い、項番号を順に繰り上げ、③(カフェテラス形式等による討論会)が②になり、④(活発な活動例の発信)を③となる。</p>
<p>委員</p>	<p>(資料 2、P9、4②第 3 項)</p> <p>カフェテラス形式による は、これはこれで親睦を考えると必要だと思うが、コロナを考えると、Web 会議にも言及した方が良いと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。</p> <p>(修正前) カフェテラス形式による討論会を開催するなど、・・・</p> <p>(修正後) カフェテラス形式等による討論会を開催するなど、・・・</p>

<p>委員</p>	<p>(資料 2、P9、4③第 5 項) 指導者、アンバサダーの養成講座と、修了者を講師として派遣するという続いた内容なので、第 5 項を第 3 項の下に入れる。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見を踏まえ、第 5 項及び 7 項を第 3 項の次に移す。 (修正前) ・第 4 項 (大学生・高校生との協力)、第 5 項 (修了者の出前講座派遣)、第 6 項 (市民等とのワークショップ)、第 7 項 (環境活動講座の修了者や子育て層がロールモデルになり啓発)、 (修正後) ・④ (修了者の出前講座派遣)、⑤ (環境活動講座の修了者や子育て層がロールモデルになり啓発)、⑥ (大学生・高校生との協力)、⑦ (市民等とのワークショップ)、</p>
<p>委員</p>	<p>(資料 2、P9、4③第 4 項) 大学生、高校生に対し、市が実施する環境イベントへの協力を呼びかけるとともに、大学や高校主催のイベント (学園祭、文化祭など) で市が協力する双方向の協力体制がほしい。例えばフードドライブ、古着回収など。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。 (修正前) 大学生・高校生に対し、危機感または意欲に訴えかける等して、市が実施する環境イベント開催や公開ゼミの開催等への協力を依頼します。 (修正後) 大学生・高校生に対し、危機感または意欲に訴えかけることを目的として、市が実施する環境イベント開催等への協力を依頼したり、また、大学生や高校生が実施する学園祭等のイベントや行事での環境の取組に市が協力します。</p>
<p>委員</p>	<p>(資料 2、全般、P9、4③第 6 項) 脱炭素社会を作っていく上で、所沢市としては今までの啓発方法に対して根本的な意識改革が必要かと思う。今までと同じことをやっても、ゼロカーボンにはならないだろう。どうすれば良いか、市長を交え、市民とトコトン討論の場などをセッティングしていくことが、今後求められることかと思いません。若者も参加すると思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>市民との直接のやりとりを増やし、施策に反映していく点については、審議会における主要なご意見の一つである。ご意見を踏まえ、次の方策を修正する。 (修正前) (4③第 6 項) 市民、団体、事業者等を対象に含めた環境に係るワークショップを開催し、意見を推進方法として取り入れます。 (修正後) (4(3)⑦) 市民、団体、事業者を対象に含めた環境に係るワークシ</p>

	<p>ヨップ等を開催し、意見を<u>推進方策として取り入れるなどの改善につなげていきます。</u></p>
事務局	<p>(資料 2、P9、4④の本文)</p> <p>理解しやすいよう、次のとおり修正する。</p> <p>(修正前) <u>業者において「経営が環境配慮型となり、地域の中で環境行動のけん引役となる」</u>よう・・・</p> <p>(修正後) <u>事業者が「経営が環境配慮型となり、地域の中で環境行動のけん引役となる」</u>よう・・・</p>
事務局	<p>(資料 2、P9～10、4④の各項)</p> <p>4(4)の方策の第 1 項、2 項、3 項、4 項を、事業者育成ステップ順に第 2 項、4 項、1 項、3 項の順とし、それぞれ①～④をふる。</p> <p>(修正前) <u>第 1 項 (補助金)、第 2 項 (先進事例の紹介等)、第 3 項 (環境配慮企業の優先的契約)、第 4 項 (環境配慮のメリット周知)</u></p> <p>(修正後) <u>① (先進事例の紹介等)、② (環境配慮のメリット周知)、③ (補助金)、④ (環境配慮企業の優先的契約)</u></p>
委員	<p>(資料 2、P10、4④第 2 項)</p> <p>企業は表彰 (顕彰) もインセンティブになる。広報、WEB 等で紹介のところに追加できないか。</p>
事務局	<p>国、県等による多くの環境の表彰制度があり、同様の制度化の必要性は低いと感じますが、当市独自の取組みを含めて環境行動普及につなげるため、次のように修正する。</p> <p>(修正前) <u>先進的な環境配慮企業の事例について、広報、web 等で紹介します。</u></p> <p>(修正後) <u>先進的な環境配慮企業の事例に関して広報、web で紹介する等、企業での環境配慮型経営の取組を普及します。</u></p>
委員	<p>(資料 2、P9、4④第 1 項)</p> <p>ZEB の補足説明が欄外に必要ではないか。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえつつ、実現可能性も加味し、次のとおり修正する。</p> <p>(修正前) <u>事業者向けの補助金 (ZEB、高効率機器導入等) を交付し、オフィスの省エネ化を図ります。</u></p> <p>(修正後) <u>事業者向けの補助金 (再エネ・創エネ機器、高効率機器の導入等) を交付し、オフィスの省エネ化を図ります。</u></p>
事務局	<p>(資料 2、P10、4⑤の各項)</p> <p>4(5)の方策の第 1 項、2 項、3 項、4 項、5 項を、こども達の啓発・育成ステ</p>

	<p>ップ順に第1項、5項、3項、2項、4項の順とし、それぞれ①～⑤をふる。 (修正前) <u>第1項 (取組良例の情報提供)</u>、<u>第2項 (効果的な出前講座)</u>、<u>第3項 (民間協働での小中学生向け環境学習講座)</u>、<u>第4項 (こどもサミット)</u>、<u>第5項 (楽しみながらの学習)</u> (修正後) <u>① (取組良例の情報提供)</u>、<u>② (楽しみながらの学習)</u>、<u>③ (民間協働での小中学生向け環境学習講座)</u>、<u>④ (効果的な出前講座)</u>、<u>⑤ (こどもサミット)</u></p>
事務局	<p>(資料2、P10、⑤本文) 脱字を修正する。 (修正前)・・・行動・活動できる人間となるよう・・・ (修正後)・・・行動・活動<u>が</u>できる人間となるよう・・・</p>
委員	<p>(資料2、P10、4⑤第1項) 具体的な文言が入っていないので内容が分かりにくい。市や地域の取組情報の具体例として例えばフードドライブ、古着回収などを入れたらどうか。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。 (修正前)学校での環境教育の支援として、環境に係る市や地域の取組情報や、学校での取組良例について情報提供します。 (修正後)学校での環境教育の支援として、<u>他学校の優良事例や地域での資源回収等</u>といった、<u>身近な環境に係る取組状況</u>について情報提供します。</p>
委員	<p>(資料2、P10、4⑤第5項) SDGsカードゲーム、かるた、川柳などは、一般や高齢者、自治体でも楽しめる内容です。③参加意欲を持つ市民、団体～の項の講習会にも入れてはどうか。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、4⑤第5項のSDGsカードゲーム等の方策を、4③第8項に加え、元々の4⑤第5項の方策については、文末に(再掲)として表示する。</p>
委員	<p>(資料2、P10、4⑤第2項) 「ショッキングな」という文言は答申にふさわしくないように思う。 また、学校の施設(太陽光パネル)等を用いたりすることで～とあるが再生可能エネルギーのありがたさもここで言えるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。 (修正前)出前講座などにおいて、<u>ショッキングな現状・将来予測</u>や具体的な</p>

取組効果を示したり、学校の施設（太陽光発電パネル）等を用いたりすることで、身の回りで何ができるか考えるような機会を与えます。

（修正後）出前講座などにおいて、危機的な現状・将来予測や具体的な取組効果を示したり、学校の施設（太陽光発電パネル）等を用いたりすることで、身の回りや家庭で何ができるか考える機会を与えます。

事務局

（資料 2、P10、4⑥第 2 項）

理解しやすいよう、以下のとおり修正する。

（修正前）行政の率先垂範におけるメリットなどの提示により、社会の環境配慮の規範の形成をします。

（修正後）行政の率先垂範により、社会の環境配慮の意識や価値判断を形成します。

事務局

（資料 2、P10、4④第 2 項等）

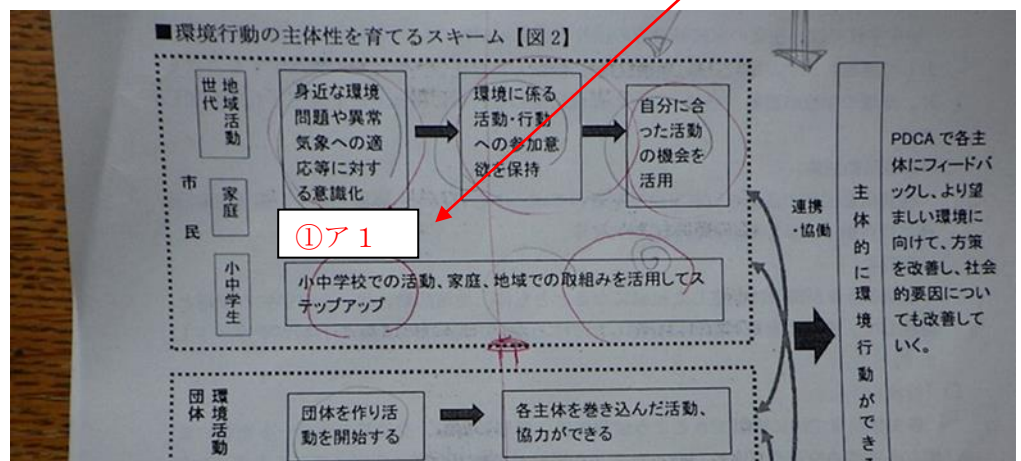
4④第 2 項の方策を、内容を鑑み、4⑥第 3 項の方策（修正後 4(6)③）として再掲する。

（修正後）先進的な環境配慮企業の事例に関して広報、web で紹介する等、企業での環境配慮型経営の取組を普及します。（再掲）

委員

（資料 2、P11、5、図 2）

- ・課題の抽出、方策の検討と図 2 のスキームの関連性が見えにくい
- ・課題と方策は対応しているので、これらと図 2 を対応させるのはいかがか。
- ・4 の①のアの「子育て世代に向けた〜」を例えば①ア 1 とすると、意識化を目指して活動に該当するので 矢印の指す位置の辺りに、スキームの中に位置づけとして、示す。



事務局

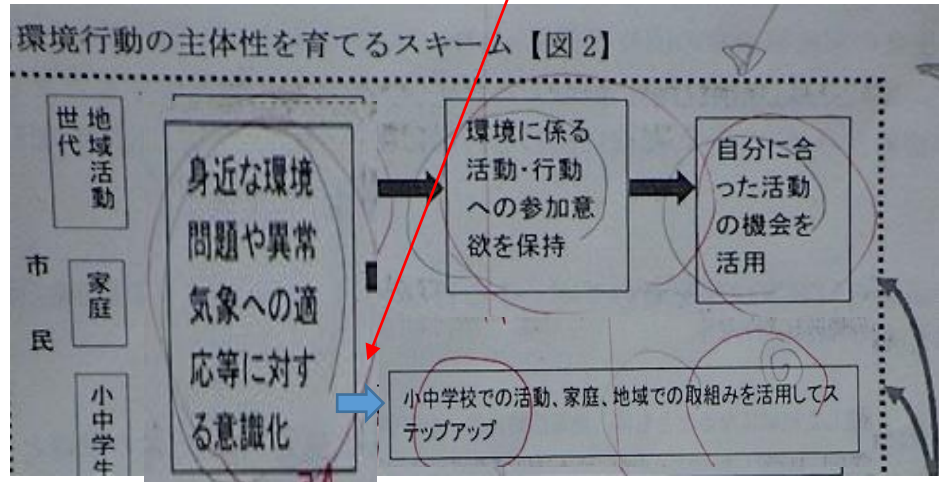
ご意見を踏まえ、理解しやすくするためにも、4 と対応する図式に書き直す。（欄外 修正図 3 参照）

委員

（資料 2、P11、5、図 2）

スキームでは個人は家庭、学校では意識化からはじめるが、団体や事業者ではとりあえず実践することからはじめることを目指していると解釈した。

もしそうであるなら、学校は何を意図しているのか不明である。これだと「ステップアップ」が主体的行動へ続くと解釈できる。学校では、最も生徒の意識化を計ることが可能ではないか。そこで以下のようにしてはどうか。



事務局

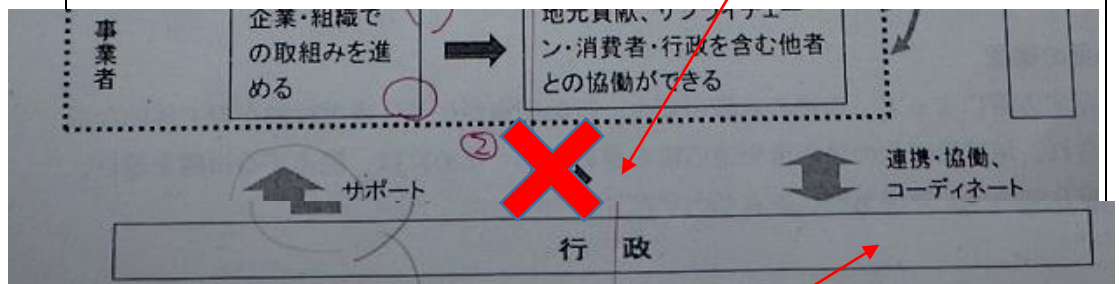
ご意見を踏まえ、小中学生においても「意識化」も加える図とした。(欄外別図3参照)

委員

(資料2、P11、5、図2)

行政がそれぞれの主体の活動を支える図になっている。サポートから連携・協働などには→になっている。時間の経過とともに支援から協働への流れを意味していると解釈した。実際には、サポートは後段階でも必要になることが多いのが現実である。

それぞれの言葉の位置はここで良いと思うが、→は削除してはどうか。



(資料2、P12、5本文の第2文)

PDCA サイクルをまわすのは誰か？各主体でと思うが、行政のサポートなどは必要ないか？行政の口（四角の枠）を延長してはどうか。また PDCA サイクルは素案の表紙にも示している重要事項だが、一言で説明が片づけられている。具体的な説明はいらないか？

<p>事務局</p>	<p>ご意見を踏まえ、「サポート」から「連携・協働、コーディネート」の間に位置している矢印を削除した。(欄外別図3参照)</p> <p>当初答申案で想定していたPDCAの主体は、答申に記載する方策をメインで講じていく行政で、方策自体をよりよいものにしていくことにより、環境行動が自発的に行えるようになる、最終的に社会全体での各取組により、かなり解決が難しい環境問題(地球温暖化等)の解決ができるようになることイメージしていた。</p> <p>しかし、ご意見を踏まえて再考すると、各主体が環境をよくしていきたい、環境を守りたいという意識や目的を持っていれば、各主体もPDCAで改善していくことができる。</p> <p>従って、図3では「PDCAサイクルによる方策の改善」とする。</p> <p>また、PDCAに関する説明を加えるため、次のとおり修正する。</p> <p>(修正前) 次に各主体がそれぞれの力で行動ができるようになった場合には、<u>PDCAサイクルでフィードバックして継続的な改善を図ることにより、現段階では解決が叶わない大きな課題でも徐々に解決に近づくことができます。</u></p> <p>(修正後)(改行) 次に各主体がそれぞれの力で行動ができるようになった場合には、<u>行政が各主体に活動結果をお知らせする等のフィードバックや、各主体が目標に対する現状の値やアプローチに対してチェック・見直しを行うといった、PDCAサイクルを持続的に実施することにより、各種方策を改善・創出することが必要です。このことで、現段階では解決が叶わない大きな問題が徐々に解決し、望ましい環境の実現に近づいていきます。</u></p>
<p>委員</p>	<p>(資料2、全般)</p> <p>SDGsの視点から、環境関係部署だけでなく、建築や保険衛生、上下水道、街づくりなどの関係部署と横断的につながることが必要だと思う。その視点が弱いかなと思った。環境、環境とストレートに市民に言うと、引いてしまいがちである。他の分野と連携しながら、気候対策を行っていくことが重要かと思う。今、市民の受容度を上げる気候対策が必要だと言われている。気候対策をすることでwinwinになる施策の展開である。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見を踏まえ、市民参加や庁内協力を得る際には、積極的にSDGsを用いて、各分野が密接に関連していることを示しながら、各主体や他部署と連携して行う旨を、5及び図3に加筆する。(欄外別図3参照)</p> <p>(修正後) 5本文の第2段落に挿入</p> <p><u>環境行動とは、環境分野に限らず、人々の様々な活動の中でとられるべき行動です。従って、市民の環境行動への主体的参加を促す場合、環境以外の分野での市民の活動であっても、一概に無関係とせず、関係分野の目標と連携しながら、最終的な大きな目標を達成するプロセスが大変重要です。そのために行政は、常にSDGsを意識しながら、他部署との横断的な連携や各主体との協働等によって、課題を解決していくことが必要です。</u></p>

委員	<p>(資料 2、P12、2 行目)</p> <p>「事業者」は不要だろうか。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、ターゲットグループに事業者を加える。</p>
事務局	<p>(資料 2、P12)</p> <p>今までの文言の整理から次のとおり修正する。また、「(主体名)」の「」を外す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P12、本文第 1 文 <p>(修正前)・・・対象とするターゲット・・・</p> <p>(修正後)・・・対象とするターゲット<u>グループ</u>・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P12、グループ説明第 2 項 <p>(修正前)「<u>環境保全団体</u>」</p> <p>(修正後)「<u>環境活動団体や自治会等のコミュニティ</u>」</p>
事務局	<p>(資料 2、P12)</p> <p>理解しやすいよう、次のとおり修正する。</p> <p>○「市民」</p> <p>(修正前) <u>地域活動世代を対象に、研修の機会を通して知識・情報の提供をするとともに、環境保全団体の協力を得ながら、リーダーシップを高めます。</u></p> <p><u>小中学校では、生徒の家庭等の身の回りの環境配慮につながるような体験活動を教育として実施します。家庭では、環境行動に配慮したライフスタイルの実践をするとともに、地域や学校の清掃、バザーなどの環境に関わる行事に積極的に子供とともに参加します。</u></p> <p>(修正後) <u>地域活動世代は、研修の機会を通して知識・情報を得ていくとともに、環境活動団体の協力を得ながら、ご自身の今までの様々な知識や地域での活動経験等も活かし、環境行動のリーダーとなるような力を備え、地域での実践の核となっていく。</u></p> <p><u>小中学生は、学校を通じて身の回りの環境配慮につながるような活動等を行うことにより、環境配慮が身につくようになるとともに、今後の活動や将来設計においても環境配慮を前提としたビジョンを描けるようになっていきます。また、ご家庭では、環境配慮に関する知識を徐々に増やし、環境負荷の少ないライフスタイルを実践するとともに、地域や学校の環境に関する行事(清掃、バザー等)に、家族の方や知り合いと共に積極的に参加するなど、地域でのコミュニケーション及び環境行動を推進する大切な役割を担っていきます。</u></p> <p>○「環境活動団体や自治会等のコミュニティ」</p> <p>(修正前) <u>環境活動団体の活動を行政又は事業者のサポートを得ながら実施します。環境活動団体には行動への参加機会の提供も求めます。</u></p>

	<p>(修正後) <u>環境活動団体や地域コミュニティの活動を気軽に開始できるような環境を整えます。これらの団体・コミュニティは、専門性、継続性、実行力が優れた特長であるため、それらを持続できるよう、行政がサポートをします。さらに環境活動団体においては、市民が参加できるような活動の機会を提供するなど、活動の枠を広げて、様々な主体と協働していきます。</u></p> <p>○「事業者」</p> <p>(修正前) <u>事業者自身が環境に配慮した組織になるとともに、地域活動世代、小中学生の家庭と連携して、消費者意識の改善に貢献したりするなどの地域貢献活動を行政がサポートします。</u></p> <p>(修正後) <u>事業者は、環境配慮の重要性と経済的にもメリットがあることを理解し、環境配慮組織に変化していきます。</u> <u>さらに、行政との連携や事業者間での協力などにより、様々な立場の市民や団体・コミュニティと連携して、環境配慮に関する消費者意識の改善に貢献したりするなど、社会への貢献活動も実践していくようになります。</u></p> <p>○「行政」</p> <p>(修正前) <u>事業者自身が環境に配慮した組織になるとともに、地域活動世代、小中学生の家庭と連携して、消費者意識の改善に貢献したりするなどの地域貢献活動を行政がサポートします。</u></p> <p>(修正後) <u>各主体が進んで環境行動できる状態になることをめざし、まず環境に関する情報提供、研修会の開催等の支援をします。次に、環境活動の主体性が育ったら、各活動の影響力が広がりを見せるよう、連携、協働、コーディネート</u> <u>の役割に移行していきます。</u> <u>行政組織における横断的な部署間連携も併せてすることにより、環境問題の原因となる社会的要因を徐々に解決していきます。</u></p> <p>委員 (資料 2、P12、6■指標例) 市民の満足度のようなものは取り入れられないか。</p> <p>事務局 ご意見を踏まえ、次のとおり修正する。 (修正前)・・・ワークショップのアンケートによる意識変化率、環境団体数、・・・ (修正後)・・・ワークショップのアンケートによる意識変化率、<u>環境行動に係る施策に対する市民の満足度、環境団体数、・・・</u></p> <p>委員 (資料 2、全般) <1> 3の課題 (p5) の要点、<2> 4の方策 (p7)、<3> 5の方策全体像 (p10) のまとめ方、<4> 答申表紙の記載についても、概ね適切であると思われる。 <5> 答申素案の構成についても、概ね適切であると思われる。ただし、ターゲットの範囲については、前述のコメントでも示したように、文章中において、</p>
--	---

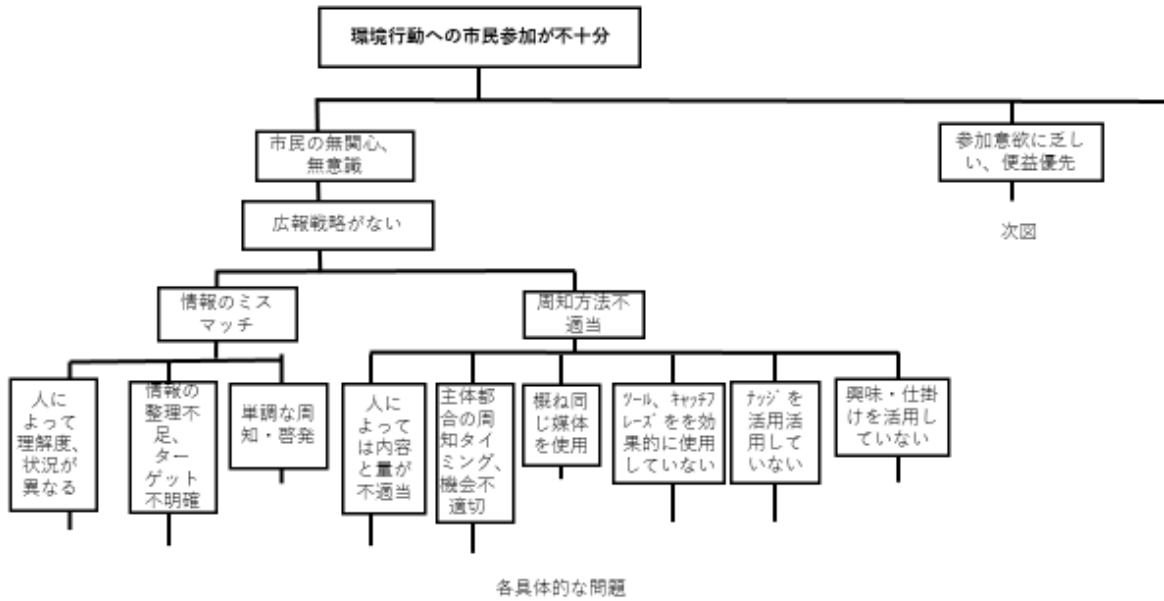
事務局	<p>事業者が含まれない箇所が数か所あったが、表や図、箇条書きの部分は事業者が含まれている。あえて事業者を外してあるのか分からないが、読んでいてターゲットがぶれるので、整合性を取っていただいた方がよろしいかと思う。</p> <p>ご意見<5>の事業者については、ターゲットグループとして加えた。</p>
委員	<p>(資料2、全般)</p> <p>新型感染症により審議やWSをしていた頃とは事情が変わり、講座などによる環境に関する人材の育成が難しいように感じる。</p> <p>まずはSNSやチラシ、ポスター、冊子、グッズ、マスコットなどによる周知で市内のエコへの雰囲気作りを重視し、ワクチンなどでイベント開催の心配がなくなり次第、リーダーの育成などのフェーズに移るのが良いのではと思う。</p>
事務局	<p>ご意見を参考に、コロナウィルス感染拡大防止のための新しい生活様式に配慮して、段階的に啓発事業、環境学習事業を開催・実施していく。</p>
委員	<p>(資料2、全般)</p> <p>今回の推進計画の特徴はワークショップで出された意見を地道にまとめた点だと思う。多岐にわたる意見をまとめた点が、これまでの提言と異なることだと思う。一方で、結局何を提言しているのか、適切に伝えることが困難になっている。4の方策がポイントだと思うが、これらをどのようにスキームの中に落とし込むかが課題になる。例えば、実際に行っている、または今後予定されている具体的な事例を取り上げ、これはスキームの中のこの箇所に該当し、今後このような姿になることを想定する、またはなることが理想である、など示すのはいかがか。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえて、前述のとおりスキームを直した。また、4の方策と今後予定されている事例との関連については、答申内に表示はしていないが、確認しながら進めているところであり、(例えば、実際に、当課では環境配慮契約の一環として、環境配慮事業者に対して、契約の際に何らかのアドバンテージを与えられないか考え始めたところである。)今後の姿を答申によってイメージできるよう、まとめていく。</p>
委員	<p>(資料2、全般)</p> <p>市民の活動を活発化していくためには、環境リーダーの育成と拠点の整備が必要だと思います。焼却場などの交通が不便なところではなく、交通の便が良いような場所に環境学習の情報発信や体験学習拠点があると良いと思う。市民がブラッと訪れたり、そこで情報交換などができるような拠点があると地域の環境活動は活性化するのではないかと思う。</p>

事務局	<p>参考までに、ワークショップの中では、都心や若者を呼ぶ場合の環境活動現場までのアクセスの悪さに関する課題と対応方策に係る意見はあった。今回の答申には、環境学習等の拠点の場所に対する方策は盛り込んでいないが、ご意見については、まず配慮すべき事項として、今後の参考にしていく。</p>
	<p>(3) その他</p> <p>資料3「令和2年度所沢市環境審議会委員名簿」、参考1「今後のスケジュール」及び全体を通してお気づきの点等について意見を求めたところ、次のとおり意見や感想が出された。</p>
委員	<p>「子どもたちの未来を紡ぐ エコタウン所沢」＝環境に取り組むことで、結果自分たちや将来世代が暮らしやすい街になるんだ！という理解を市民一人ひとりが深められるような、丁寧な説明やアプローチが必要だと感じた。</p>
事務局	<p>ご確認、ご意見ありがとうございます。</p>
委員	<p>特にございません。</p> <p>これだけの資料の整理、お疲れ様でした。</p> <p>全体的には、よく整理されているのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ご確認、ご意見ありがとうございます。</p>
委員	<p>全体は素晴らしくまとまっていると思うが、環境問題は範囲は広く、難しく理解をさせる事が非常に困難であると思われる。</p>
事務局	<p>ご確認、ご意見ありがとうございます。環境問題への理解の一助になるような答申の方策としていく。</p>
委員	<p>良くまとめられていると思います。</p>
事務局	<p>ご確認、ご意見ありがとうございます。</p>
委員	<p>素晴らしいと思います。頑張ってください。</p>
事務局	<p>ご確認、ご意見ありがとうございます。</p>
委員	<p>(書面会議について)</p> <p>声で聴けたら理解の度合いは又違っていたかもしれないが、私にとってはとても難しかった。会議に至るまでの作業が大変だったのではないかと思います。</p>

事務局	<p>しっかり読ませて頂いた。</p> <p>ご確認、ご意見ありがとうございます。一般市民の方が理解しやすいものとなるようまとめていく。</p>
委員	<p>(書面会議について)</p> <p>書面審議は、書面だけ読んでも良くわからないところがあり、どのような意見が求められているのかも把握が難しく感じる。今後、大事な審議の場合は、やはり対面もしくはオンラインで会議ができると良いと思った。所沢市のオンライン会議の整備を期待する。</p>
委員	<p>(書面会議について)</p> <p>全体像を理解するまで時間を要した。まだ理解していない点もあるかと思う。その中で意見をするのはやや難しく感じた。企業や大学であると会議がZOOMなどのオンラインで代替され、当たり前になりつつある。とは言え、市民会議では参加者に多様性があるため、オンラインを一律に導入するのは難しいだろう。よいアイデアがあるわけではないが、より良い手法で皆様が等しく意見を言える機会があることを望む。その点では、今回は等しく意見を言える機会が確保されたので、よかったと思う。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>書面会議に係る感想をありがとうございます。また、難解であった部分につきましては、恐れ入ります。</p> <p>書面会議は、感染リスクを避けられる、書類を時間をかけて丁寧に読める等の長所もありますが、文書を理解するまでに時間がかかる、どのレベル感での意見を求めているのかわかりにくい、口頭での回答は数分ですむのに対し、文書回答はある程度時間が必要となる等といった短所があると、今回の実施で感じた。</p> <p>ご意見のとおり、オンライン会議は有効な会議方法の一つであるので、環境が整えられれば、状況に応じて使用をしていくべき優れた会議手法であると認識している。</p>

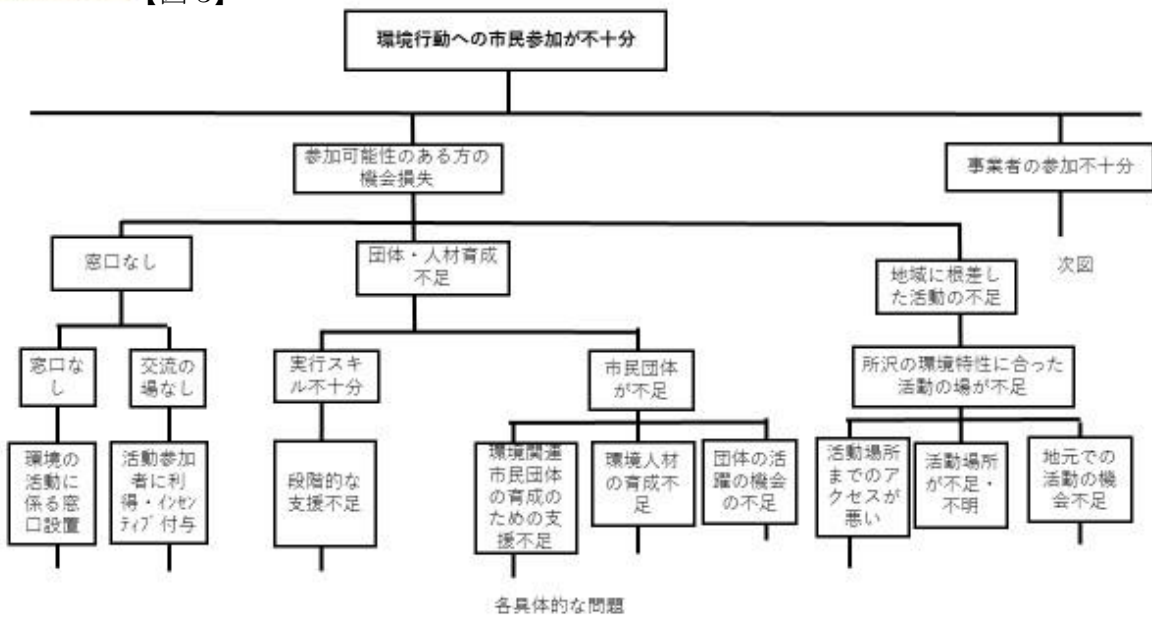
別図 1-1

問題分析① 【図 1】



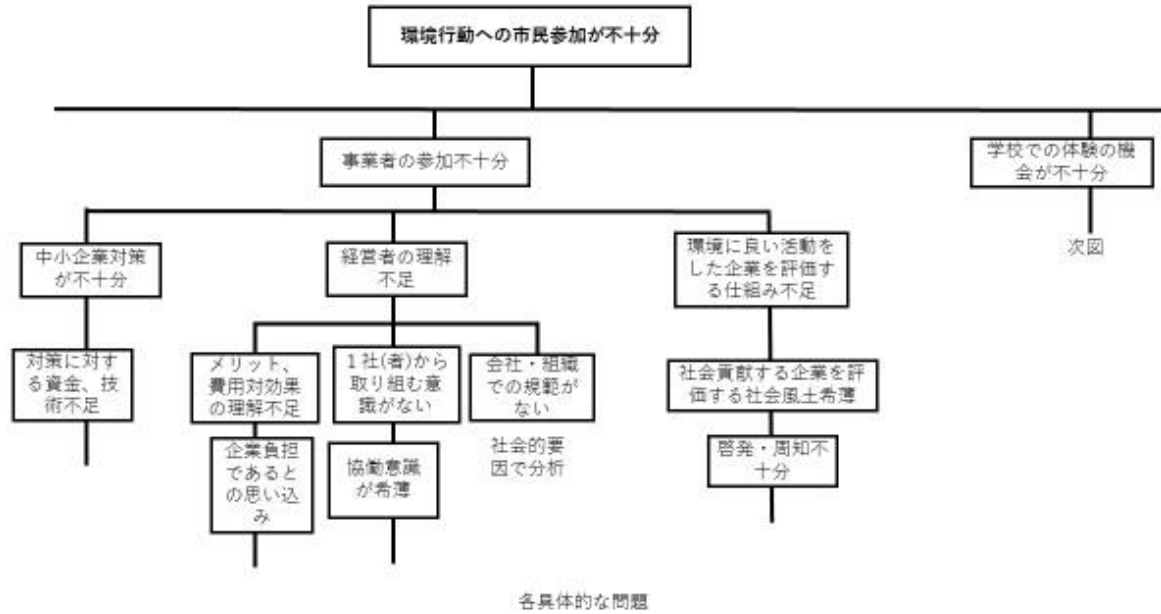
別図 1-2

問題分析③ 【図 3】



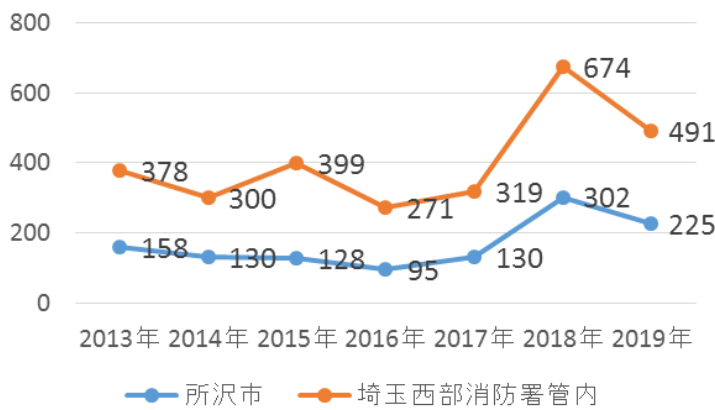
別図 1-3

問題分析④ 【図 4】



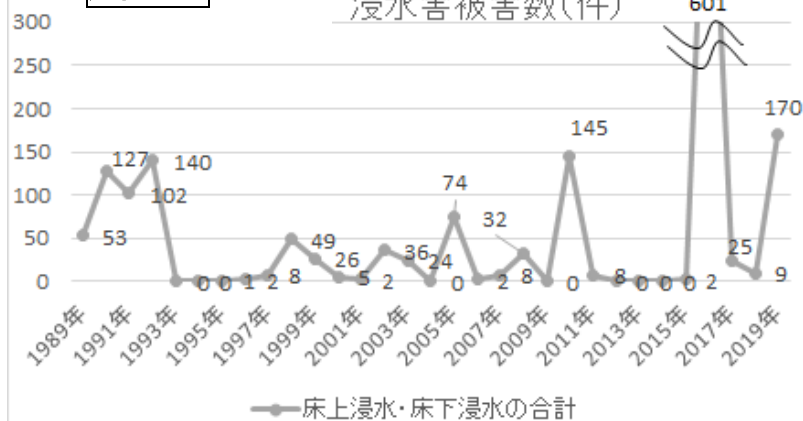
別図 2-1

熱中症搬送人数(人)



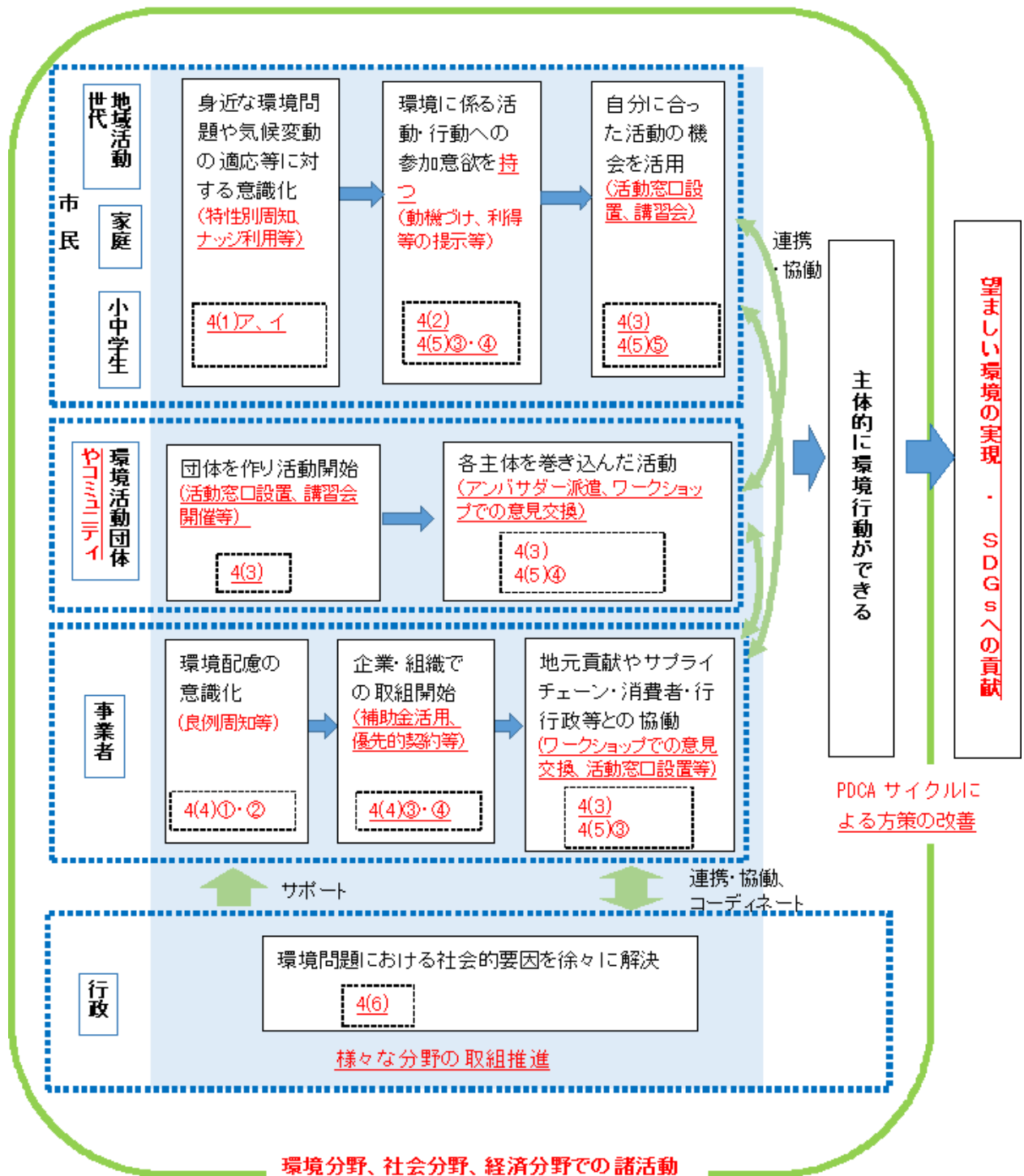
別図 2-2

浸水害被害数(件)



別図 3

■環境行動の主体性を育てるスキーム【図 3】



(注) 図 3 中の 4(1)ア などの番号は、4(1)アの方策に関連していることを示しています。